

# 2009年の中小企業景況見通し

～「中小企業景況調査」の付帯アンケート結果報告～

1. 業況の見通し
2. 売上高・収益の見通し
3. 設備投資・雇用の見通し
4. 金融の見通し
5. 経営上の不安要素
6. 経営基盤の強化に向けて注力する分野

調査時点	2008年11月中旬
調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社 (首都圏454社、中京圏140社、近畿圏306社)
有効回答企業数	581社
回答率	64.6%

問合わせ先：中小企業研究第一グループ（足立、磯野）  
TEL： 03-3270-1704 FAX： 03-3270-1983  
ホームページアドレス： <http://www.jfc.go.jp/>  
E-mail： [souken@c.jfc.go.jp](mailto:souken@c.jfc.go.jp)

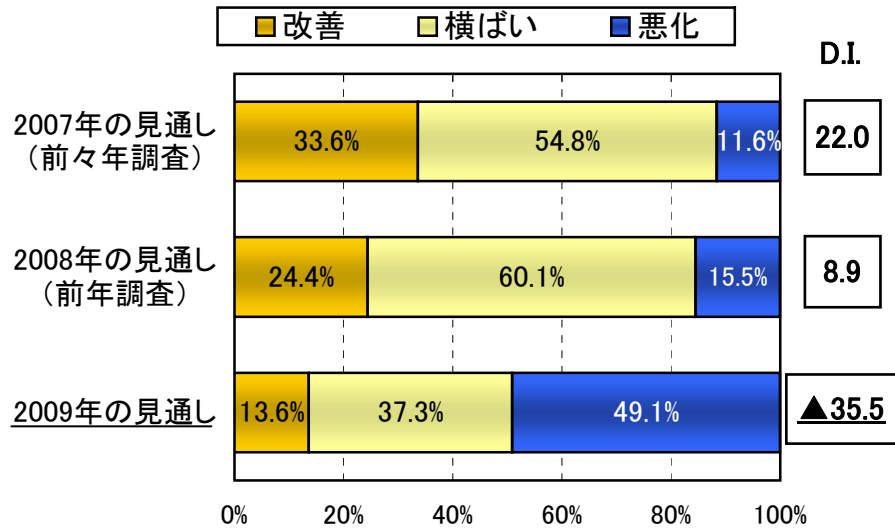
# 1. 業況の見通し

・来年(2009年)の業況見通しは、「改善」を見込む割合が前年調査に比べ低下し、「悪化」を見込む割合は49.1%と大幅に上昇している。

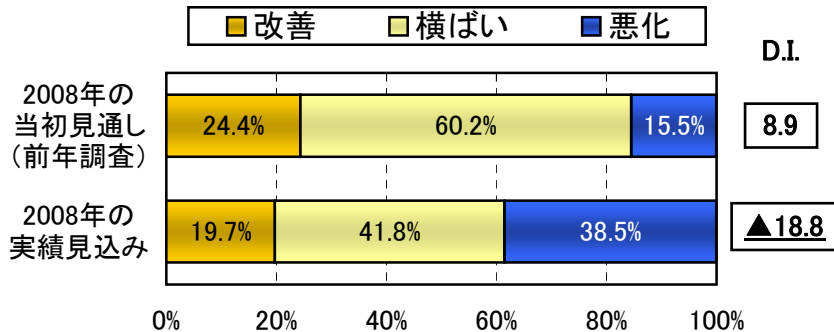
・需要分野別にみると、全ての需要分野<sup>(※)</sup>において「悪化」を見込む割合が大幅に上昇している。特に、乗用車関連では7割超の企業が「悪化」と回答している。

(※)各企業の取り扱う製商品のうち、最もウェイトの大きいものについての最終需要先を聞き取り、その需要分野毎に集計している。

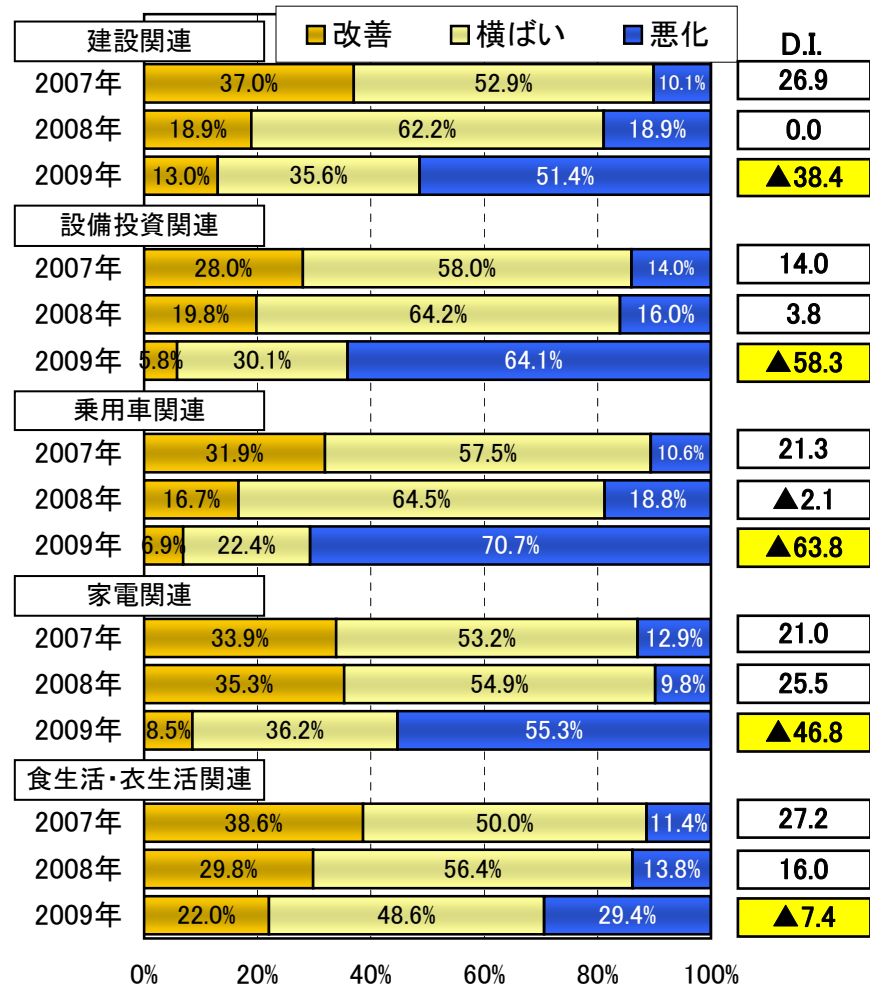
【図表1】 2009年の業況見通し(前年、前々年調査との比較)



(参考)2008年の修正状況



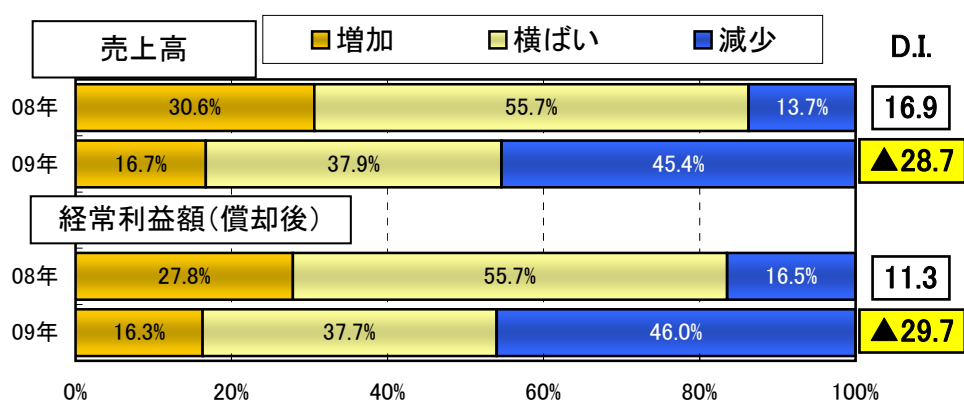
需要分野別の業況見通し(前年、前々年調査との比較)



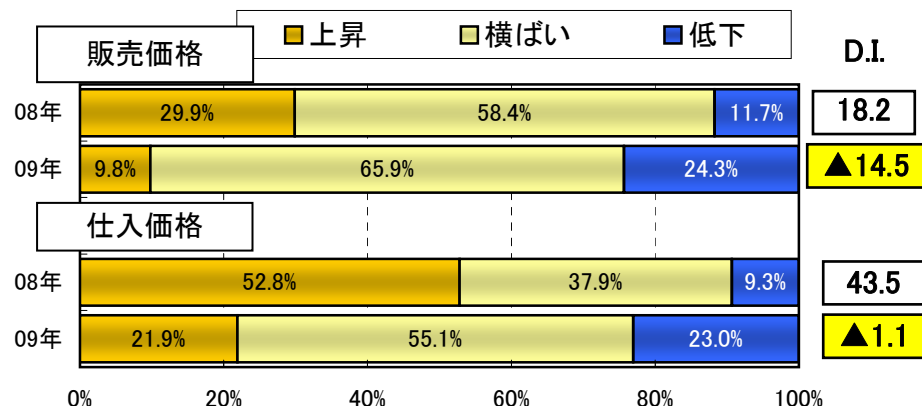
## 2. 売上高・収益の見通し

- ・売上高及び経常利益額の見通しは、ともに「減少」を見込む割合が大幅に上昇している。
- ・08年に大きく上昇した仕入価格D.I.についてはほぼトントンとなっているが、販売価格D.I.については大幅にマイナスに転じている。
- ・需要分野別にみれば、食生活・衣生活関連以外の分野における売上高D.I.は、昨年のプラスから一転して大幅なマイナスに転じている。食生活・衣生活関連では引き続き仕入価格が上昇する見通しであることから、利益額D.I.については全ての需要分野でマイナスとなる見通し。

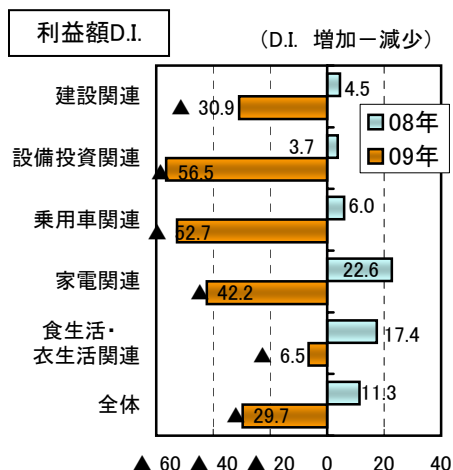
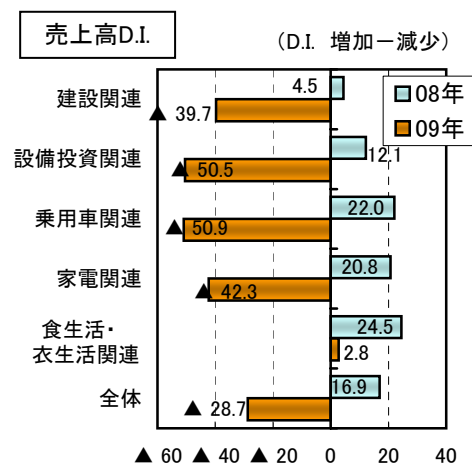
【図表2】 売上高・経常利益額の見通し(前年調査との比較)



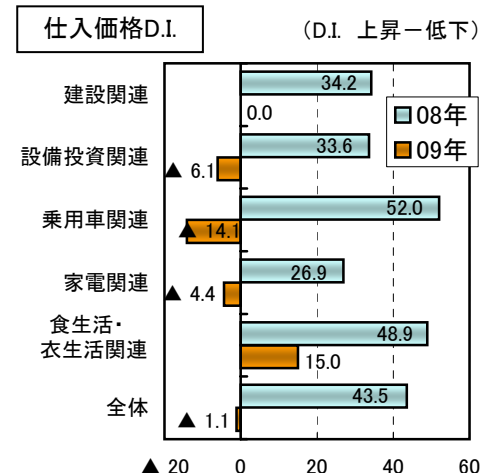
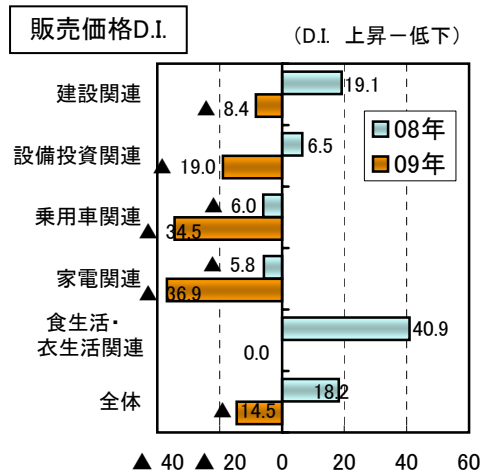
【図表3】 販売価格・仕入価格の見通し(前年調査との比較)



(需要分野別D.I.)



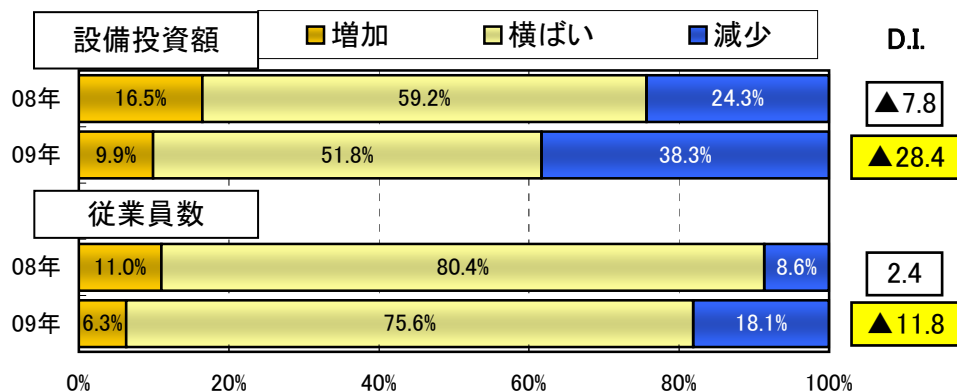
(需要分野別D.I.)



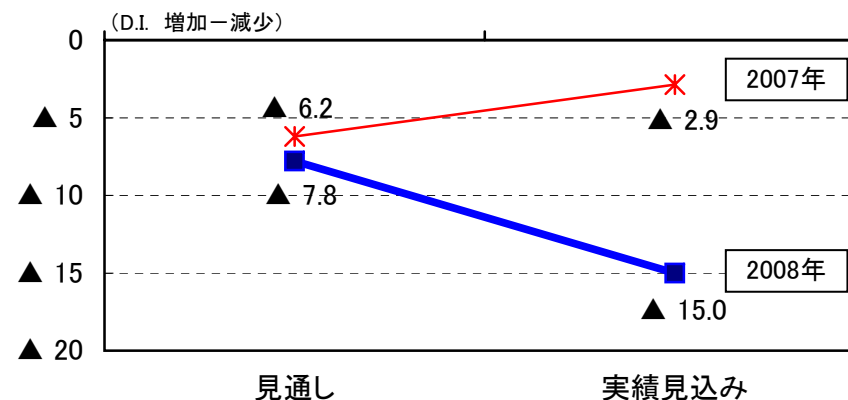
### 3. 設備投資・雇用の見通し

- ・設備投資は、設備投資額の08年実績見込みが当初見通しから下方修正された上、09年はさらに大幅に減少する見通しとなっている。
- ・雇用は、従業員数の08年実績見込みが当初見通しから下方修正されマイナスに転じたことに加え、09年も引き続き大幅に減少する見通しとなっている。

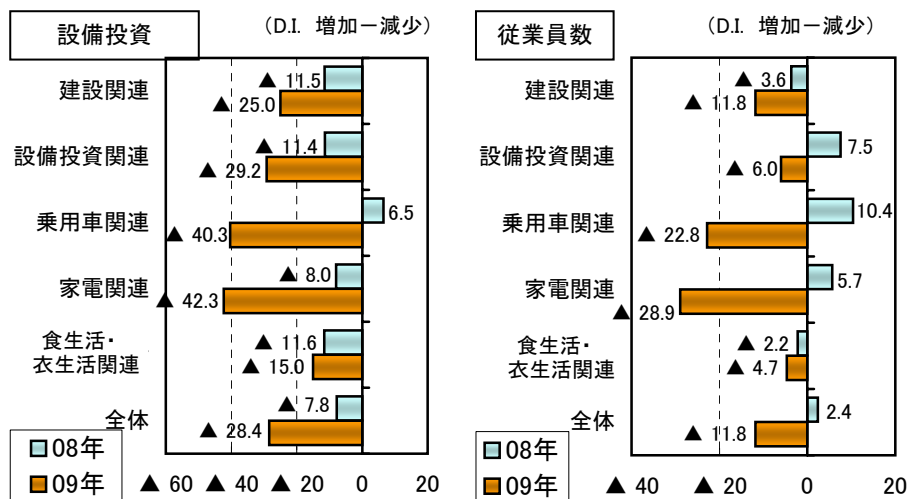
【図表4】 設備投資・雇用の見通し(前年調査との比較)



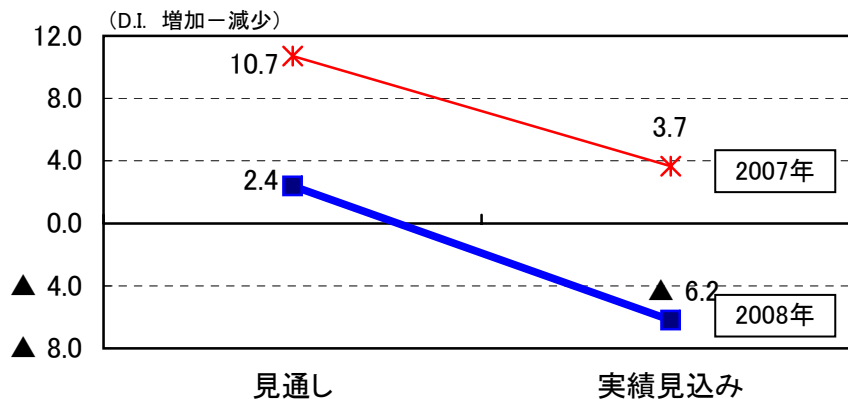
(設備投資の見通しD.I.と実績見込みD.I.の修正状況)



(需要分野別D.I.)



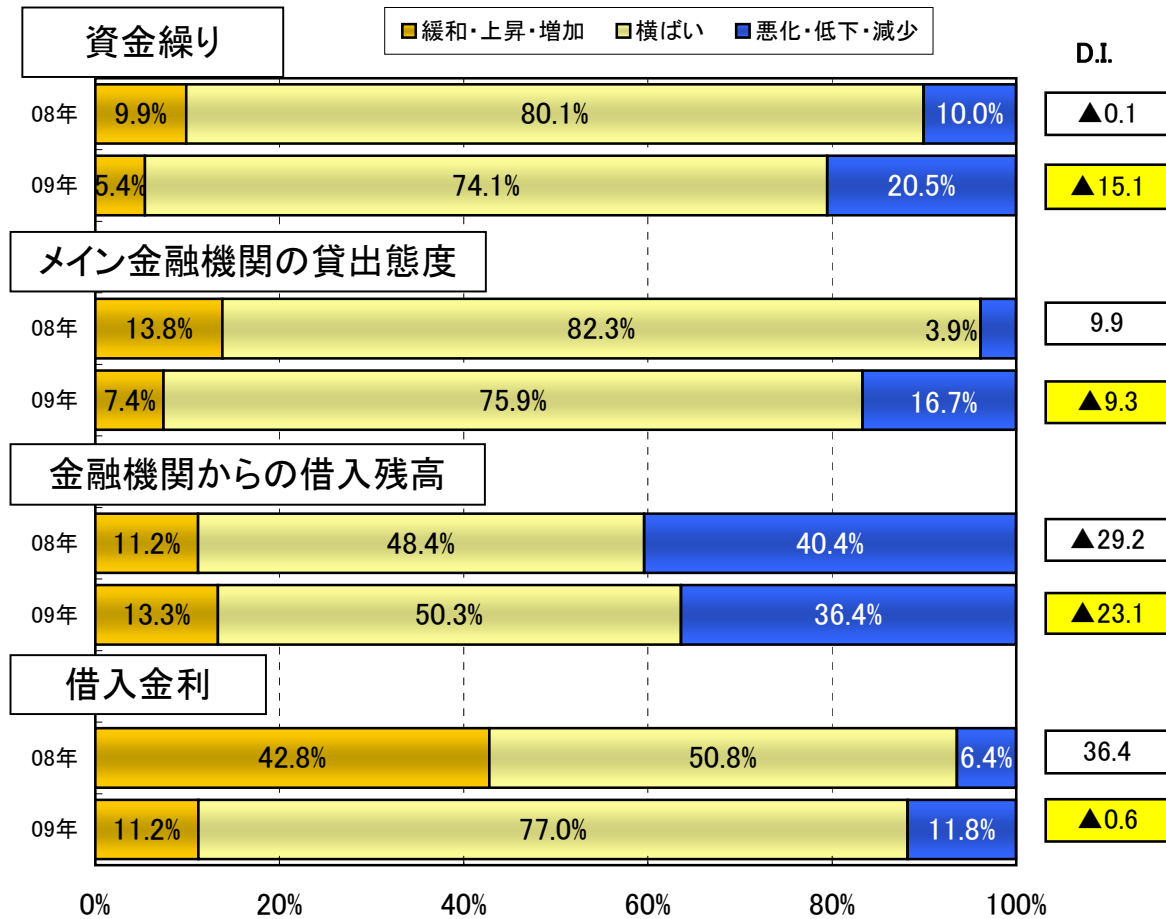
(従業員数の見通しD.I.と実績見込みD.I.の修正状況)



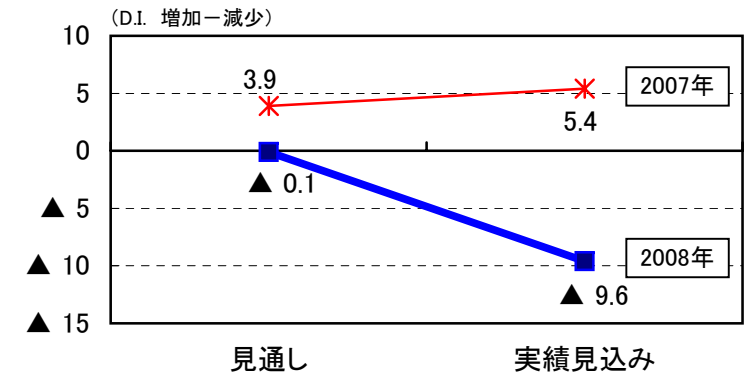
## 4. 金融の見通し

- ・資金繰り、貸出態度はともに、08年実績見込みが当初見通しから下方修正された上、09年はさらに厳しくなる見通し。
- ・借入残高は、厳しい事業環境を映じて、減少のペースが緩やかになる見通し。
- ・借入金利は、「横ばい」を見込む割合が約8割近くに及ぶなど、金利はほとんど動かない見通しとなっている。

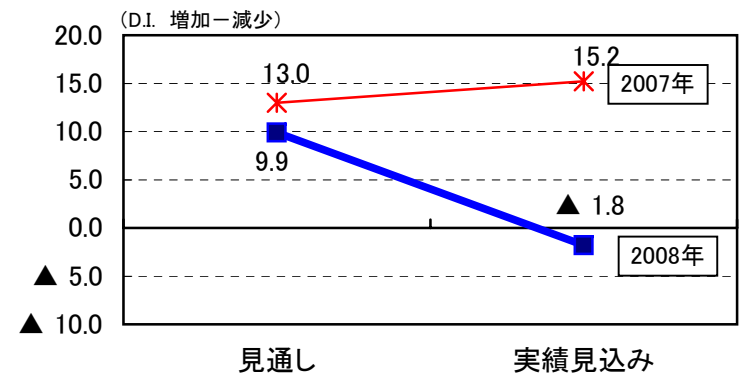
【図表5】 2009年の金融関連の見通し(前年調査との比較)



(資金繰りの見通しD.I.と実績見込みD.I.の修正状況)



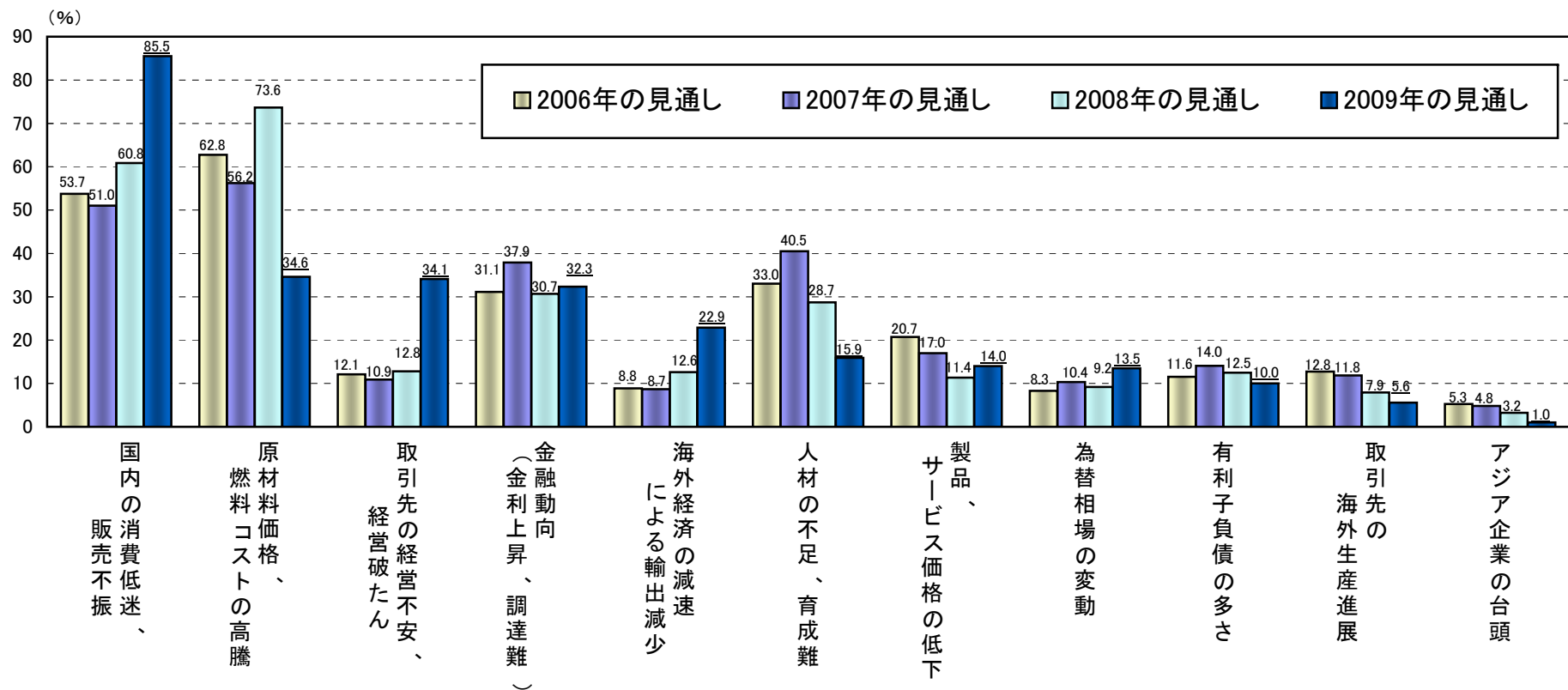
(貸出態度の見通しD.I.と実績見込みD.I.の修正状況)



## 5. 経営上の不安要素

・2009年に向けての不安要素は、「原材料価格・燃料コストの高騰」が大幅に低下し、代わって国内外の景気低迷を受ける形で「国内の消費低迷・販売不振」、「取引先の経営不安・経営破たん」および「海外経済の減速による輸出減少」の割合がそれぞれ大幅に上昇している。

【図表6】 2009年に向けての不安要素(前年の調査結果との比較)

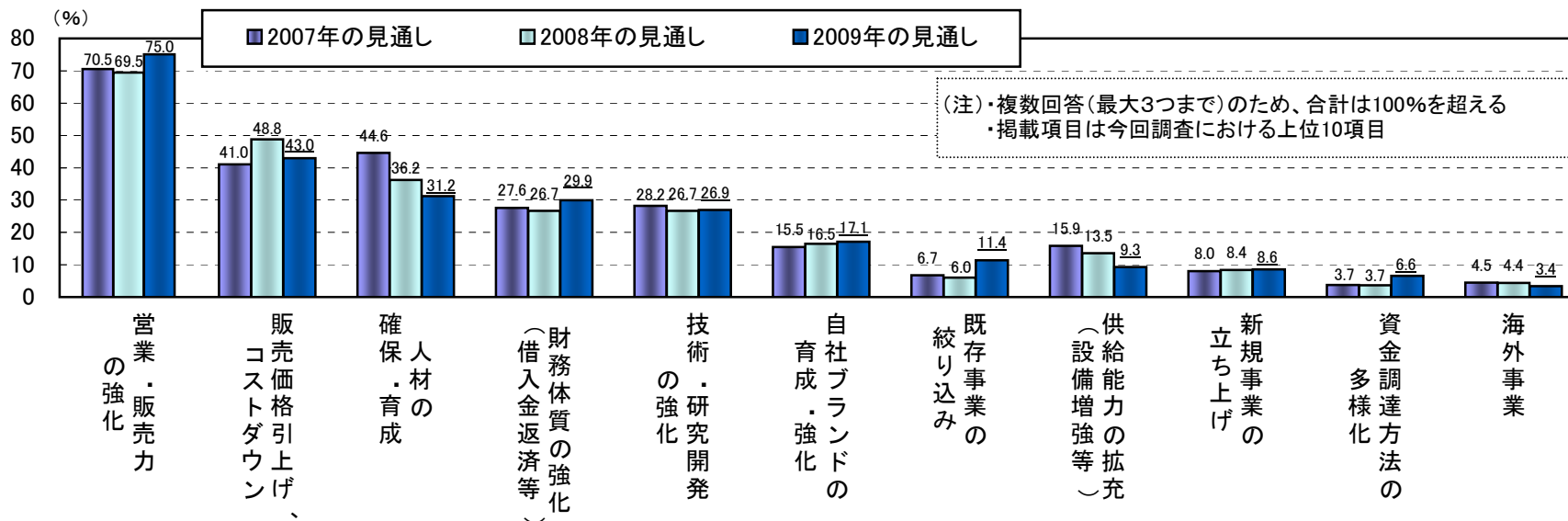


(注)・複数回答(最大3つまで)のため、合計は100%を超える

## 6. 経営基盤の強化に向けて注力する分野

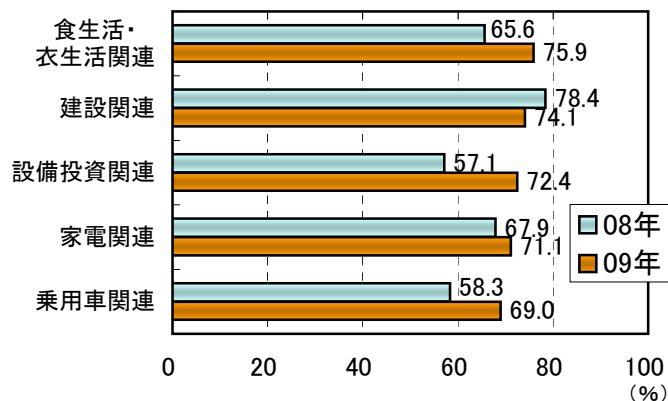
- ・2009年に注力する分野は、「営業・販売力の強化」が大きく上昇した。景気の低迷を受けて「人材の確保・育成」、「供給能力の拡充(設備増強等)」の割合が低下する一方で、「既存事業の絞り込み」を挙げる割合が増加している。
- ・需要分野別にみると、各分野で「営業・販売力の強化」を挙げる企業割合が高まっている。また乗用車関連で「技術・研究開発の強化」が増加しており、その他の分野では、「新規事業の立ち上げ」を挙げる企業割合が高まっている。

【図表7】 2009年に注力する分野(前年の調査結果との比較)

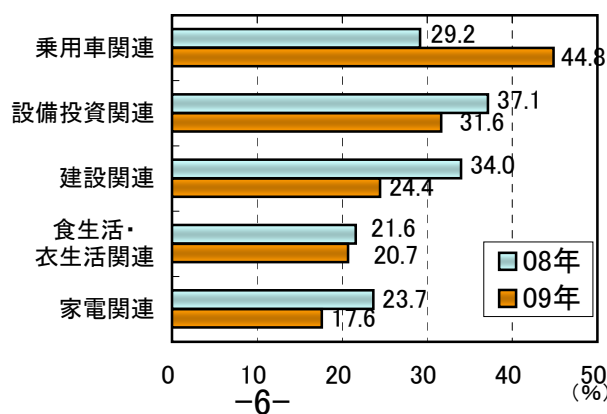


### 需要分野別

【営業・販売力の強化】(割合の高い順)



【技術・研究開発の強化】(割合の高い順)



【新規事業の立ち上げ】(割合の高い順)

